

平成22年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成22年9月30日（木） 10:15～11:45

場所：定山溪万世閣ホテルミリオーネ「須磨」

出席者（敬称略）：相川 厚、伊丹儀友、坂野 堯、宍戸清一郎、白髪宏司、杉谷 篤、高橋公太、高橋昌里、野々村克也、服部元史、藤澤正人、柳原俊雄、和田尚弘（以上13名、欠席9名のうち委任状8名）

第32回日本小児腎不全学会野々村克也会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告

平成21年度の会計報告ならびに平成22年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正であることが監事である高橋公太ならびに伊丹儀友評議員によって報告され、平成21年度の会計報告と平成22年度の予算案が了承された。

(2) 会員数の動向

平成22年9月24日現在の会員数は、正会員426名、名誉会員12名であると事務局より報告された。正会員数の増加（例年は390～400名）は、ホームページ(HP)開設で入会手続きが分り易くなったことや筆頭演者は会員である必要性が本大会では周知徹底されたことによる可能性が示された。次回の大会以降も、筆頭演者は会員である必要性を周知徹底することが確認された。

(3) 次々期会長の選定

第34回会長（平成24年度）に、藤澤正人先生が推薦され、了承された。

(4) その他

1) 服部事務局長より学会HPが平成22年4月1日にオープンしたこと、そしてHPの内容が紹介された。

2) 太田和夫名誉会長が平成22年7月20日にご逝去されたが、本学会から献花したこと、訃報を平成22年8月発行の日本小児腎不全学会雑誌に掲載したことが事務局より報告された。

3) 日本小児腎不全学会雑誌作成費用に関して、雑誌のサイズをA4版に変更するなどして1ページあたりの単価が安く抑えられつつあることが事務局より報告された。なお、有料別冊代やページ超過代の未納者には督促することが確認された。

4) 太田和夫名誉会長のご逝去に伴い、会則第4章第8条の名誉会長2名を名誉会長若干名に変更すること、そして後任の名誉会長として長谷川昭名誉会員が推薦され、了承された。また、本学会役員名簿中に太田和夫名誉会長のお名前を残すこととした。

5) 臓器移植関連学会協議会による「臓器移植法改正後の移植医療体制整備に関する提言（案）」を本学会として承認したことが事務局より報告された。

6) 「Gift of Life プロジェクト」の運営に関して、本学会が後援することが事務局より報告された。

7) 事務局より、第11回小児医学川野賞候補者推薦の依頼について案内がなされた。

8) 相川評議員、宍戸評議員、服部評議員の計3名から、新評議員として渡井至彦先生（名古屋第二赤十字病院移植外科）が推薦され、了承された。

(5) 次期会長の挨拶

第33回会長の高橋昌里先生より準備状況が報告された。

平成23年10月20日（木）～10月21日（金）、ホテルアンビア松風閣（静岡県焼津市）

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成

議事録署名人

服部元史

野々村克也

柳原俊雄

